

豊中の政治を変えよう！

発行 2010年2月

VOL. 40

インフルエンザ
予防策は、
やっぱり
手洗い・うがい！

かんばらこういちろう

神原 宏 一 郎 の つ な が り 通 信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

豊中市議会議員

無所属・市民派

若い力で新しい政治を実現します！

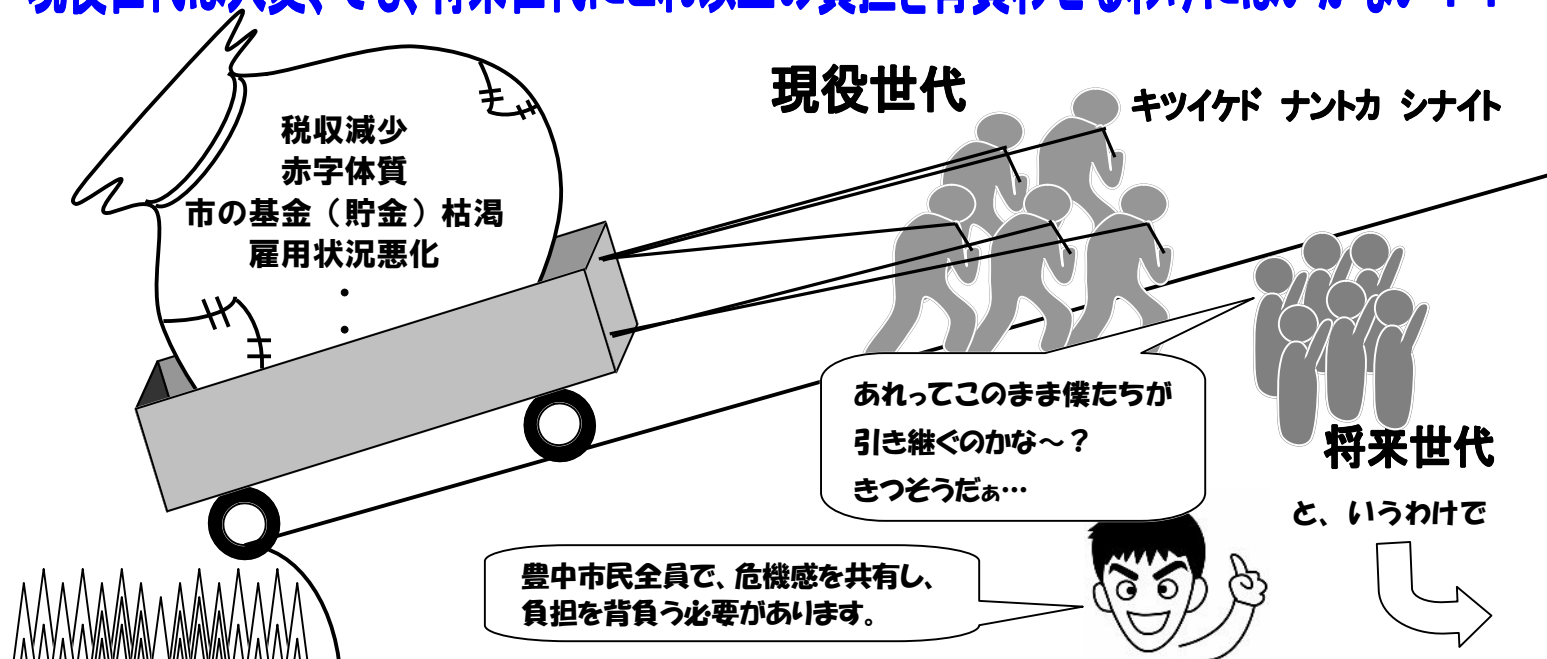
◆一時凌ぎは、もう限界！！～来年度は約12億円の収支不足！！～

今年度は約108億円の財源不足が生じる(2008年9月試算)とのことでしたが、市は行財政改革・市有地の売却・各部局予算5%カット・市債の発行・基金の繰入運用などにより財源不足を補いました。来年度以降の収支は、2010年度約60億円、2011年度約73億円、2012年度約52億円の赤字(2009年7月試算)です。さらに、今年度と同様の措置を講じても、2010年度約12億円、2011年度約22億円、2012年度約20億円の収支不足の見込みです。臨時的措置(一時凌ぎ)も限界と言えます！！(下図参照)
また、現在の市債残高は約1100億円(一般会計のみ)で、市の年間予算額(約1200億円)とほぼ同額です。一方、市の基金(貯金)は、ほとんどありません。

現在の社会状況・経済状況下では、今後ますます社会保障費の増加が予想され、市有施設の補修・改修・耐震化に要する経費や公債費(過去の借金返済)の増大も予想されます。さらに、生活環境の変化等により、市民ニーズの変化や多様化にも対応する必要があり、現在の市の事務・事業の必要性・有効性を改めて検証、点検する必要があると思います。一時凌ぎの財政運営を改善するためにも、役職加算などの無駄な歳出の見直しや、新たな歳入確保策を早急に講じる必要があると思います。

	2010年度	2011年度	2012年度
歳入合計	約1184億円	約1161億円	約1170億円
歳出合計	約1244億円	約1234億円	約1222億円
歳入歳出差引	▲約60億円	▲約73億円	▲約52億円
行財政改革等の 効果を加算後 収支不足額	▲約12億円	▲約22億円	▲約20億円

現役世代は大変、でも、将来世代にこれ以上の負担を背負わせるわけにはいかない！！



◆批判や言い訳ではなく、提案やチャレンジ精神を！！

～神原の行財政改革案～

【】内は効果見込額

- ・豊中版事業仕分けの実施【予算額の1割程度(数十億円)】
- ・市有施設の有効活用(民間企業への売却や貸出など)【数千万円～数億円】
- ・市税、保険料、使用料などの悪質滞納者に対する徴収の強化と徹底【数億円】
- ・事業系ごみの処理費用を全額業者負担化【約3億5000万円】
- ・放課後こどもクラブ会費を定額から応能式に変更【数千万円～数億円】
- ・ごみ収集業務など可能な範囲での事業・業務の更なる民営化【数百万円～数千万円】
- ・市所蔵の美術品を処分(寄贈・返却・売却など)し、保管倉庫の借上げを廃止【約450万円】
- ・市職員及び市民の意識改革 などなど



＜以下は職員の方々の意見の一部です＞

- ・時間外勤務を減らす努力が見られない。
- ・勤務時間中に長時間たばこを吸う職員がいる。
- ・行財政改革を本気で取り組むふりをしているだけ。
- ・無駄な用品の購入、修理可能な物品の買替えがある。
- ・必ずしも、必要だとは思えない事業がある。 などなど

私の改革案には課題や問題がある項目があるかも知れませんが、市民の方々や職員の方々にも様々なアイデアがあると思います。必要不可欠な市民サービスを維持するために、皆様のご意見・ご提案をお聞かせ頂けると、大変ありがたいです。

◆どうなる大阪国際空港～30年ぶりに地元団体と懇談会を実施！！～

空港問題調査特別委員会では、これまで、被害住民・地域住民の意思を尊重して、環境対策・安全対策を推進するとともに、空港を活かしたまちづくりに積極的に取り組むとしてきましたが、被害住民・地域住民の実態調査等は行われていませんでした。そこで、被害住民・地域住民が大阪国際空港について、現在どのような見解をお持ちなのかを伺うために、30年ぶりに地元団体との懇談会が実施されました。

～豊中市航空機公害対策連合協議会 (航対連)の見解～

- ・今まで大阪国際空港裁判訴訟を行ってきたが、請求内容は被害に対する損害賠償や午後9時以降の空港利用の差し止めなどで、空港の廃止を求めたことは一度もない。
- ・以前の算出で、大阪国際空港の経済効果は約8300億円あり、豊中市に大きな役割を担っていると認識。
- ・3空港一元管理の話は、関空の赤字から始まっており、この問題を議論するのが、数人の知事・政令指定都市の首長・財界人などで、地元自治体や住民の意見が反映されない形で物事が決められていくことは遺憾。

～大阪国際空港及びその周辺地域活性化 促進協議会(活性協)の見解～

- ・黒字の空港を廃止し、赤字空港に投資するのは理解できない。黒字空港はより一層、活性化を図るべき。
- ・北海道・沖縄などの長距離便の増便、アジア諸国等への国際線の復活をして欲しい。
- ・大阪国際空港についての豊中市・豊中市民の見解がメディアで取り上げられることが少な過ぎる。
- ・大阪国際空港利用者が、到着後に、豊中市内でどこか行きたくなるような場所・イベントを生み出していく必要がある。



空港問題調査特別委員会(豊中市議会)としては、
「大阪国際空港を存続する」ことを前提としているとの見解を示しました。

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の 10時から 17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.tcct.zaq.ne.jp/positive-square/

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

